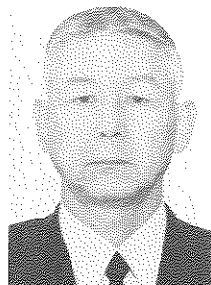


日本最高の軍事専門図書館

「靖國偕行文庫」

第2代文庫室長

白石 博司 陸自66



靖國神社に靖國偕行文庫という図書館がある。この文庫は、靖國神社の御祭神が散華された当時の状況の調査資料を整備してその御威徳を顕彰するとともに、日本近代史のための正確な資料を保存し、後世の研究に資することを目的として設立された。

現在の蔵書数は、13万余冊を保有し、質量ともに誇れる軍事専門図書館である。軍事以外にも靖國神社の特性上「歴史」「思想・宗教」なども保有している。

日本の軍事専門図書館としては、「靖國偕行文庫」以外に、今引つ越し途中（目黒→市ヶ谷）にある、「防衛研究所戦史研究センター（元戦史部）」

「奈良県立図書館情報館・戦争体験文庫」の数館くらいである。敢えて加えるとすれば、各県にある「護國神社」

も蔵書の多寡はあるが、その地域に所在していた部隊関係地域の御祭神をお祀りしている神社として、関係遺品・文献・図書を保有している。

横道に逸れるが、世界では珍しく日本には軍事関係博物館、軍事専門図書館が殆んど無い。

偕行文庫が、靖國神社に保有書籍類を奉納し、軍事関係博物館としての靖國神社遊就館と併設して靖國偕行文庫の建設を企画された先人の方々に敬意を表したい。

靖國偕行文庫は、平成11年10月7日に靖國神社創立百三十年を記念して偕行文庫が「奉納」して開館したものである。

偕行文庫として市ヶ谷に近い地に図書館を建て、旧日本陸軍の精神、伝統と歴史を「偕行」という名と共に、永久に残そうという思いは戦後偕行文庫が復活した時から歴代会長・理事長・会員の間にあつた。その願いを靖國神社・大野宮司に受けて戴き、その思いが叶つたのである。一方、靖國神社としては、図書館の資料・書籍の充実、正しい歴史認識の普及のための資料保存等々、両者の思惑が一致し実現したものである。

神社内の位置については、昭和6年「国防館」として設立された現・靖國會館に増設するということが具体化

し、約5億円の経費を偕行文庫が負担して建設されたものである。

開館時の書籍数は5万1千冊、内3万5千冊は偕行文庫蔵書である。

偕行文庫から奉納された図書は「近代日本における軍事史資料が中心であり

「戦史」のみでなく広く軍事と関係する政治・外交及び諸制度についての資料が収集されている。軍事関係では戦史・戦記の他に軍制史、軍人の伝記・回想録、追悼録や陸軍関係学校資料、殊に各学校の教程類、同期生会会報が数多く所蔵されており、陸軍各部隊の部隊史及び各兵種の教範並びに実施学校による専門雑誌、訓練参考資料と共に明治建軍以来の「偕行文庫記事」「主計団記事」が全巻揃い、他館に決して劣ることのない蔵書内容・質を誇る図書館である。

靖國偕行文庫の蔵書は、開館時から約15年で倍増しているが、その大半は、偕行文庫、御遺族、戦友会等からの御奉納で成り立っている。

偕行文庫の方で、書籍を執筆発刊された方は、事務局の方に寄贈して下さい。

全リストを返送するとともに、靖國偕行文庫が必要とする未保有の図書は靖國偕行文庫に奉納するとともに必要に応じて偕行文庫の保有図書として活用させて頂きます。また、多くの軍事関係

図書・資料の処理に困っておられる方が周囲に居られましたら、偕行文庫で引き取り、有効に活用させて頂きますので、その旨を偕行文庫事務局までご一報頂くとともに、偕行文庫事務局へ宅配便等で送って下さい。

靖國偕行文庫は、月・木曜日が休館で、他に年末に数日清掃のために休館する以外は、常時開館している。

閲覧室は20席あり、閉架式で、閲覧申込書に希望の書名を書いて係りに提出すれば、至短時間に閲覧ができる。希望者にはコピー（有料）ができ、貸出については、靖國神社崇敬奉賛会員以外には偕行文庫の会員のみ3冊2週間の出借が可能である。

蔵書検索は、館内のパソコン・蔵書目録でも可能であるが、自宅のパソコンでも靖國神社ホームページ経由で検索可能である。

靖國偕行文庫では、レファレンス担当の係が居ますので、気軽に問い合わせ頂ければ、親切に対応頂きます。

また、偕行文庫事務局にもレファレンス担当者が2名居ますので、偕行文庫事務局に電話戴くか、メールでお問い合わせ下さい。(kaitoref@srinusoon.jp)